

事業番号4	平成 25 年度事務事業評価調書			資料01	
事業コード	03030103	区	分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	郷土資料館運営事業	担当部署名	教育課		
		作成責任者職氏名	課長 中野光二	内線	650
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)		
	03教育・歴史・伝統	03歴史的・文化的遺産の保全・活用	01文化財の調査・保護・活用		
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (H22年度～H24年度)		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管	
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	千早赤阪村立郷土資料館設置条例・施行規則	義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容		(2)対象(誰を対象とするのか)	
<p>①目的</p> <p>郷土を中心とした歴史・考古・民俗等に関する資料を収集・保管・展示して、住民(もちろん広くは国民)の文化的向上に資するため</p> <p>②内容</p> <p>村立郷土資料館の管理・運営</p>		<p>住民・村外からの来館者</p>	
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)		(4)事務事業を進める上での課題や問題	
上記目的の達成		<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化による修繕等の増加が予想される 身体障害者への対応が不十分(この時世にあって、広く来館者を募る施設が身障対応できていないのは行政として大きな問題である) 指定管理者の専門性等の問題 	

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	23 年度 実績	24 年度		25 年度 事業費(見込)	26 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	4,521	4,521	4,521	4,521	4,521			
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源	4,521	4,521	4,521	4,521	4,521			
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.10	0.10	0.10	0.10			
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	555	555	555	555			
総コスト費(千円)(A+C)	5,076	5,076	5,076	5,076	5,076			
人口あたりコスト(円)	838	838	838	838	838			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	24 年度			25 年度 目標値	26 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標							
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 0% / 0 = #DIV/0! (A)

(1/2)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	第4次総合計画に記載のある歴史観光拠点の1つとなっている。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	第4次総合計画に記載のある歴史観光拠点の1つとなっている。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	経験のある指定管理者により管理されているため、概ね効率はよい。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	2 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	村予算を用いて展示等の専門的学芸業務を行っているが、入館料はすべて指定管理者の収入になっている。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	11 / 16	69%	(B)
-------------------------	---------	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
#DIV/0!	69%	#DIV/0!	C

a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小)
b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止)
c: 50~69%(縮小又は見直し改善)

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
<p>郷土を中心とした歴史・考古・民俗等に関する資料を収集・保管・展示し、住民(もちろん広くは国民)の文化的向上に資するため引き続き実施する。ただし、身体障害者への対応や指定管理者の専門性等の問題など検討すべき課題がある。</p>	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果		
(2)第三者による有識者会議結果	(3)行政経営戦略会議結果	
郷土を中心とした歴史・考古・民俗等に関する資料を収集・保管・展示し、住民(もちろん広くは国民)の文化的向上に資するための拠点として必要性は認識しているが今後、老朽化した施設の維持管理経費の負担を考慮すれば施設運営のあり方を見直す必要があると考える。	C	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
郷土の歴史資料を保存展示し観光の拠点としての価値はあるが、もっと村民や観光客を引きつける魅力あるイベントなど拡充目的での見直しが必要である。また、施設の補修、改修等の計画を策定する必要がある。	C ※拡充の方向で見直し	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
地域の人や子どもたちを集めるイベント等、入館者を増やす努力が必要である。	C	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止